



IWATE BANK NEWS LETTER



平成26年8月25日

株式会社岩手銀行

いわぎん「海外視察ミッション」の実施について

岩手銀行（頭取 田口幸雄）では、岩手県内を中心とした取引先企業の海外進出支援の一環として、いわぎん「海外視察ミッション」を実施いたしますので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 概要

(1) 日程

平成26年11月3日（月）～平成26年11月8日（土）

(2) 訪問国（2カ国）

インドネシア共和国、シンガポール共和国

(3) 人員

頭取を団長とし、30名程度の視察団を組成する。

2. 目的

(1) 近年、日本国内では、人口の減少や少子高齢化等による国内市場の変化により、企業が販路拡大や労働力を海外に展開させる動きが増加する傾向にある。

また、日本政府が昨年の平成25年6月に策定した「日本再興戦略」においても、海外展開を行う国内の中小企業・小規模事業者数を5年間で6,000社から10,000社とする目標を掲げ、国からの海外ビジネス展開を目指す企業に対する支援を強化する動きも見られており、今後も海外展開を進めていく企業は増加していくことが予想される。

(2) このような国内企業の海外展開への動きが見られる中、弊行でも岩手県内を中心とした取引先企業の海外進出を支援していくため、初めての取組みとなる「いわぎん『海外視察ミッション』」を実施し、現地の政府関係機関や教育施設の訪問、現地の日本人との交流を通じて、取引先企業の海外事業展開に向けた動きを促進していくもの。

3. 訪問国の選定理由とおもな訪問先

別紙のとおり

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
地域サポート部 及川・曾我
TEL: 019-624-7021 (直通)

岩手銀行

1. インドネシア共和国

(1) 選定理由

アセアン最大の人口を有し、自動車メーカーを中心に海外からの進出が顕著で、国際協力銀行が平成25年度に実施した「中期的（今後3年程度）有望事業展開先の国」では世界第1位となるなど、今後さらなる成長が期待されている国である。

(2) おもな訪問先

訪問先	内 容
(株)ミクニインドネシア工場	2006年4月に設立された当社の現地法人。 二輪車用気化器や関連部品を製造しており、おもに現地の日系大手企業に納品している。
インドネシア共和国投資調整庁	インドネシア進出時の事業設立の認可、輸入関税免税、外国人職員のビザ取得等各種手続きの窓口となっている。 約1,000社に上る日系企業の設立実績があり、「インドネシアの投資環境や進出時の留意点」等についての講義やディスカッションを行う予定である。
「SMAドゥイワーナ」高等学校	岩手県内の学校と姉妹校締結した全寮制の高等学校。 日本語教育に力を注いでおり、日本語授業を視察するとともに、学生との意見交換の場を設け、日本企業や日本人に対する印象、日本との教育環境の違い等について理解を深め、企業側の外国人受入れにかかるニーズを喚起する。

2. シンガポール共和国

(1) 選定理由

S & P（スタンダード・アンド・プアーズ）社による格付では「AAA」（トリプルA）を取得する信用力の高い国で、国際空港の発着件数の多さも世界有数であり、アジアでは香港と並ぶ近代国際都市である。

また、他国と比較して法人税率が低く、外貨規制も少ないことから、アジアの金融センターとして海外拠点の統括機能を設置している企業が多い国である。

(2) おもな訪問先

訪問先	内 容
シンガポール日本大使館	ビザの発給や滞在先での日本国民の保護といった援助活動のほか、シンガポールでの外交活動の拠点として、広報や文化交流活動、情報収集活動等をおもな業務としており、「シンガポールの概要や今後の取組み」等について講義をいただく予定である。
シンガポール証券取引所	シンガポール国外の企業で上場している企業が全体の40%以上を占め、アジアで最も国際的な市場。 中国、インド、日本のアジア3大経済大国を中心としたアジアの株式先物取引においては、世界最大のオフショア市場を提供している。
経 済 開 発 庁	外国企業の進出をサポートしている機関で、シンガポール進出に関する様々な情報を得ることができ、シンガポール進出を検討している企業にとっては、支援等も含め有効なパイプの構築を図ることが期待できる。